

ひょうぶ企業探訪

2019 学生が聞く

④

包装機械で成長、番組制作も

食品や化粧品、医薬品容器に商品名などが書かれたフィルムを包装する機械を製造し、高いシェアを誇る。約10年前からはテレビ番組の企画・制作にも当たり、「包装」と「放送」を両立する。神戸学院大の島永嵩子准教授のゼミ生が岡田耕治社長(50)を訪ねた。

―違う事業をしていた。

「社長だった父が急死した1999年、経営コンサルタントを辞め30歳で社長に。当時の売り上げはブラウン管テレビの検査機がほぼ全て。液晶やプラズマの技術が確立され、ブラウン管はなくなると思いました。液晶やプラズマの検査機も受注したものの、海外製品との競争で価格は3分の1に。ディスプレイ事業から手を引くと決めました」

日本テクノロジーソリューション(神戸市中央区) 岡田 耕治社長(50)

岡田耕治社長(右)に話を聞く神戸学院大3年の長沼優子さん―神戸市中央区港島南町7、日本テクノロジーソリューション



―なぜ包装機械に。

「市場が広い店頭の商品に着目。商品の『顔』で売りを上げるを左右する包装の機械なら値切られにくいと考え、2001年に発売した

のが『トルネード』です。

熱風を4方向から回転させて当てるフィルムがしわなく収縮し、どんな形の容器でも美しく仕上がります。食品会社などに営業し、フ

イルムや容器メーカーが使

わざるを得ない状況をつくられた。700台以上販売し、同機を使って包装した商品のないコンビニやドラッグストアはないほどです」

本社社屋の外観



メモ

1976年創業。81年岡田電気工業として設立。2004年現社名に。社員数34人。18年9月期連結売上高約7億円。20年春採用予定10人。神戸市中央区港島南町7の2の8。☎078・304・4439

―番組も作っている。

「BSテレ東などで放送中のドキュメンタリー番組『ものづくりの挑人たち』です。他社の商品開発のストーリーを聞くと面白く、コンテンツにしたら皆さんの役に立つのではと始めました。企業価値、商品価値を上げるお手伝いをする点で、包装事業と関連性があると考えています」

―求める人材は。

「強めたいのは営業力。明るくて元気で素直な人を歓迎します」

(まとめ・大島光貴)

